

《秋 号》

2022. 10. 15

あゆみ

Vol. 81

<発行>

社会福祉法人大阪府肢体不自由者協会
大阪府肢体不自由児者父母の会連合会
〒540-0006
大阪市中央区法円坂一丁目1番35号
アネックスパル法円坂内
TEL 06 (6940) 4181 FAX 06 (6943) 4661
E-mail: info@daishikyo.or.jp
ホームページ: http://www.daishikyo.or.jp

2025ビジョン「笑顔あふれる職場」を目指して

社会福祉法人 大阪府肢体不自由者協会 理事長 野間田 徹

法人では、2025ビジョンの実現に向けて、取り組みを進めています。特に人材育成の大きな力となっている研修について積極的に進めています。

●ハラスメントのない職場づくりのために

法人では、働きやすい良好な職場環境整備を目指した取り組みの一環として、就業規則やハラスメント防止規程の整備、啓発ポスター・相談窓口の掲示、研修(下記参照)を実施してきました。

●新しい気づき、成長の機会に 主任研修

次世代リーダーの養成という観点からの主任研修会は、法人としても初めての取り組みです。日頃業務が忙しく顔を合わせる機会の少ない職員が一同に会すること自体にも意義がありました。

主任クラスの職員になると対人援助職としての専門性や知識だけでなく、課題解決やマネージメントする力が求められます。回数は、少ないですが、この研修をきっかけに、新しい気づきや成長の機会になればと考えます。

●笑顔あふれる職場の実現に向けて

この間の研修を通じて感じたのは、ハラスメントのない職場の実現は、一人ひとりの職員の信頼関係や協力なしには、実現しないということです。そのベースになっているのは、やはり組織内の良好なコミュニケーションです。

私は、事業計画で掲げている2025ビジョン「笑顔あふれる職場」の実現に向けて、理事長として先頭に立って取り組んでいきますので、全ての職員のご協力をお願いいたします。



コミュニケーション講座(職場の元気の土台!)

【8月4日(木)】

講師：株式会社ドクタートラスト・南 未来氏(保健師・公認心理士)
職場での「心理的安全性」や「アサーション(自他尊重)」、「頻回、短時間の”雑談”の有効性」等について説明がありました。職場の「心理的安全性」を高めたり、職場全体の活性化・働きがいの向上のためのコミュニケーションの役割割りについて学びました。

ハラスメント防止研修

【2021秋～2022夏】各事業所でDVDを活用した自主研修

研修後にアンケートをグラフ化し意見をまとめ、職員へフィードバックしました。研修の中では、「相談窓口が周知されていて安心できます」という職員からの声も聞かれました。

【9月9日(金)】

講師：大阪働き方改革推進支援・賃金相談センター
訪問コンサルティング専門官 福田恵一氏(社会保険労務士・中小企業診断士)

ワークや動画を使った具体的な事例紹介もあり、理解が深まり、日常のやり取りを考える良い機会となりました。

『法人内相談支援ネットワーク会議』

新しく立ち上げました

現在法人には、いきいき(森ノ宮)、ひだまり(守口)、かたの(交野)、ぴょんぴょん寝屋川、ぴょんぴょん泉北の5つの相談支援事業所があります。

この度、法人内の横断的なネットワーク会議を新しく立ち上げました。スタッフの少ない中で、日常の相談や地域の課題、相談支援体制

主任研修会

【1回目：6月7日(火)】13:30～17:00 ()内は内部講師

- ・法人の歴史(理事長 野間田)
- ・社会福祉法人会計(基礎編)(事務局長 松井)
- ・大肢協組織体系とキャリアパスについて(森ノ宮障害児拠点長 稲原)
- ・主任が行う人材マネジメントについて(その1)(交野自立センター所長代理 仲)

【2回目：9月20日(火)】13:30～17:00

- ・1部 メンタルヘルス研修 ～管理監督者向けラインケア研修～
講師：中央労働災害防止協会大阪労働衛生総合センター
専門役：戸次 由香氏(ヘルスケアトレーナー、心理相談員)
職場のメンタルヘルスケアとして、セルフケアにおける自分自身のストレスを振り返るワークやラインケアの担い手としての主任の役割りの重要性や具体的な手法について学習しました。
- ・2部 主任が行う人材マネジメントについて(その2)
講師：交野自立センター所長代理 仲佳子

【3回目：2023年2月14日(火)】(予定)

- ・1部 「社会福祉法人に求められること～これからの法人経営～」
わらしべ会 理事長 辻 和也氏
- ・2部 主任が行う人材マネジメントについて(その3)
講師：交野自立センター所長代理 仲佳子

の構築を進める事業ですので、つながりを定期的に持ちながら、情報交換や連携・協力体制を強化して、法人として力を発揮していけたらと考えています。

大肢協 café shade tree 7周年

オーガニックコーヒーと **カフェ シェード ツリー**
ヘルシーランチのお店 **café shade tree**

今年10月1日(土)をもちましてcafé shade treeは7周年を迎えました。

これもひとえに皆様のご支援、ご愛顧の賜物と心から感謝いたしております。

コロナ禍で短縮営業とはなっておりますが、感染対策を講じ営業しております。新メニューや焼き菓子もありますので、是非ご来店ください。



ギャラリー受付しております

	住所：大阪市東成区中道3-15-16 毎日東ビル1階
	TEL/FAX：06-4307-6558 営業時間：9:30~17:30 ランチタイム：11:00~14:00 定休日：日曜日・月曜日
	<ul style="list-style-type: none"> ・JR環状線 玉造駅下車 東へ徒歩3分 ・地下鉄鶴見線 玉造駅下車 4番出口 東へ徒歩5分

大肢協 ボッチャ交流会

5月25日(水)と7月8日(金)に、アネックスパル法円坂会館内で交流を目的としたボッチャ交流会を行いました。

大阪府高齢者大学校・ひこうせん・なにわの宮の3つの団体が参加し、各団体から2チームを選出し対戦を行いました。

なにわの宮ではレクリエーションで月に一回ボッチャをしているので、みんな得意かとおもいきや、初対面の人ばかりで緊張したのが、いつもより力が入っている様子でした。

年齢や障害の有無に関わらず交流できるスポーツだけにみんなで楽しい時間を過ごせました。コロナ禍で交流の機会が減っている中でしたので、貴重な体験をさせていただきました。

**大肢協** 守口障害者支援センター「ひだまり」

去る8月17日より守口障害者支援センターひだまりの増築工事がスタートしました。

就労継続支援B型の作業棟を解体、樹木を撤去し整地までの工事が終了し9月5日(月)に地鎮祭を行いました。

当日はお天気にも恵まれ、佐太天神宮の宮司様のもと、本部から野間田理事長、松井次長、設計、施工会社、守口障害者支援センターひだまり職員、ご利用者様代表、保護者会代表約20名が清祓いの儀、玉串奉奠を行いました。10月下旬には棟上げの予定です。

**大肢連** 全肢連全国大会 愛知県で開催!

9月10日(土)~11日(日)、愛知県豊橋市のロワジールホテル豊橋にて、「住み慣れた地域で自分らしい生活ができる共生社会の実現!」を大会テーマとし全肢連全国大会が開催されました。

各分科会は後日YouTube配信となり、第3分科会「大地震に備える」のみ当日講演となりました。福祉避難所の課題について、災害時の物資輸送及び車中泊について、他2項の話をお聞きしました。その後厚生労働省、文部科学省から福祉施策の動向、特別支援教育の動向についての話がありました。最後には大会決議文を読み上げ大会は1日で閉会しました。次年度は8月に岡山県での開催となります。

翌日は、元劇団四季や宝塚俳優たちが活動している『心魂』のパフォーマンスがありました。コロナ禍のなかでの久しぶりの大会開催に元気づけられました。

大肢連会長 松並 利行

**大肢連** 国へ要望書提出しました

今年度も全肢連を通じて国への要望を提出いたしました。

厚生労働省へは、重度障害者のグループホームについてや補装具の耐用年数の短縮についてなど7項目、国土交通省へは、高速道路障害者割引の登録車の要件の緩和についてなど2項目を要望いたしました。

昨年より障害者総合支援法の見直しに向けての話合いが行われていました。繰り返し要望してきた私たちの声を受け、重度障害者が安心して生活できる支援のあり方を示してほしいと思います。

北摂ブロック長 竹内 久美子

大肢連

大阪府への要望、3年ぶりに対面で懇談

去る9月14日(水)、午後10時30分より正午まで大阪府庁の第1会議室で大阪府との懇談がありました。

新型コロナウイルス感染症の関係により、2年続けて大阪府への要望の回答を文書で受けていました。今年度は、こちらのお出席者10名と人数制限はありましたが、対面にて回答の場を持つことができました。

「重度重複障害者のグループホームの整備」については、「府営住宅新築時に重度重複障害者のグループホーム確保、空き家住宅を利用」と具体的な対策を要望しました。

府営住宅は住宅に困窮する低所得者に対して提供するので、障害者も入居可能とのことですが、グループホーム開設の整備は事業所に対応しないといけないため、バリアフリーやスプリンクラーが必要な重度重複障害者には大きな課題になります。また、空き家利用のグループホームもあるようですが、知的の方ばかりでした。

ショートステイの整備では、医療的ケアの方を受け入れ可能な福祉型強化短期入所サービスを実施している福祉型事業所が、府内512事業所中25事業所とまだまだ少なく、そのサービスのメリット(医療的ケアの方のために看護師を配置すれば、同一日の利用者全員にも加算される)が、認識されていないと感じていると言われました。医療的ケアの方を受け入れることに事業所は責任を重く感じており、その不安感を払拭するように、好事例を発信してほしいとお願いしました。



補装具については「2個目を認めてほしい」から「耐用年数を短くしてください」に変更しました。回答は「厚生労働省からの告示に掲げる耐用年数を一律に適用することなく、個々の障害者の実情に沿った対応を行うよう方針が示されております」とのことです。耐用年数に達してなくても状況により新しく補装具を申請できるようですが、強く言わないと申請が通らない等、対応に差が生じないようにしてほしいです。

事前に項目ごとに意見を述べる方を決めていましたが、それぞれの思いが強く、時間内に伝えきれなかった感があります。

しかし、対面で意見交換することでその思いが少しでも府へ通じたと信じ、一歩でも前に進んでほしいと思います。これからも熱く要望を続けていきます。

大肢連事務局長 橋本 佳子

大肢連

全肢連さわやかレクリエーション報告

堺市肢体不自由児者父母の会「社会参加交流事業」

新型コロナウイルス感染症で行動制限があるなか、感染が少し落ち着いたタイミングで、7月15日(金)に19名の会員で久しぶりの社会参加交流事業を行いました。

バスで、水間寺を参拝し、境内を散策してから、泉佐野漁港青空市場でエビ、ホタテ、牡蠣等のBBQの昼食を楽しみ、その後みんなそれぞれ新鮮な魚など購入していました。

皆さんとの会話も弾みフレッシュできた1日でした。

玉木 実千代



大肢連「親・家族交流会」

7月5日(火)、アートホテルベイタワー51階スカイビューッフェにて年に1度の会員同士の交流会を開催しました。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となり残念でしたが、今年は時期を早め開催することができ65名の方にご参加いただきました。



会場は感染防止対策がしっかりとられ、安心して2年ぶりに会う方々との交流や美味しい食事を楽しみました。海賊をテーマにしたお料理にはユーモアあふれるタイトルがついていて味

だけでなく景色ともども、目でも楽しむことができました。

食事のあと、新型コロナウイルス感染症について少し話合いましたが、どなたも自分(親)が感染すれば障害のある子どもはどうしたらいいのだろう、誰が世話をしてくれるだろうと不安な思いをもっておられました。

素敵な時間と空間に心身共にリフレッシュすることができました。

南 朋子

岸和田市肢体不自由児者父母の会「講演会」

去る9月8日(木)、午前10時30分から岸和田市立総合福祉会館にて、元読売新聞社記者で現在「相談室ぱどる」代表 原 昌平さんに講演をお願いしました。

「障害のある人が使える制度や成年後見人制度についての講演会」というテーマで16名の出席がありました。

1.制度をフル活用する、2.将来への備えを考える、3.信頼できる人や団体とつながる、という三点を中心にして、家族が責任を負うという考え方をやめることが大切だということをお聞きしました。

以後は頑張らない暮らしをしよう、制度ももっと活用しようと思いました。またお金にまつわる話や税金や年金の話も知らないことも多く勉強しないと損をするのだと思いました。

最後に孤立せず人と人のつながりを大切にすることが一番大切だということで、私たち父母の会の会員同士のつながりを再認識しました。

花田 律子

大阪府受託事業

大阪府肢体不自由者社会参加活動振興事業

フレンドシップキャンプ

後援：NHK厚生文化事業団 近畿支局

去る9月10日(土)に日帰りレクリエーションとして「神戸どうぶつ王国」に行きました。

今年2月に予定していたこのイベントも新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止となりましたが、今回はそのリベンジとして感染症対策をしっかりとして行うことができました。

当日は、名鉄観光サービスさんのご案内でアネックスパル法円坂に10時に集合し、リフト付き観光バスにて神戸を目指しました。天気予報は曇り。しかし、車窓からの景色はカラッと晴れた青空となりました。

高速もスムーズになんと30分で神戸ポートピアホテルに到着しました。

皆さんは豪華なホテルに感激、そのまま29階の

レストランへと足を運びます。レストランから望む展望は、神戸空港やその先には関西国際空港、淡路島まで見渡すことができました。

中国レストランのコース料理では、普段口にすることができない中国料理が提供され、皆さん至福の時間を過ごされていました。

昼食を済ませバスに乗り込み目指すは「神戸どうぶつ王国」。

全天候型の施設で園内も広く、また土曜日ということもあり、入出が多く活気があるせいか、動物たちも躍動的で見ごたえがありました。普段観る機会の少ない、アジアやアフリカ等に生息している珍しい動物たちと触れ合うことができ、皆さん出発時間ギリギリまで可愛い動物たちに癒されていました。

今回は、4名のボランティアさんにもご協力いただき参加者の方と交流していただきました。

コロナ禍で外出する機会が減っている中、今回の日帰りレクリ



エーションでは皆さんの笑顔がとてもいきいきとされていたのが印象的でした。

参加者の感想

今回は一人でも楽しめるかなと思い、一人で申し込みしました。一人で行事に参加するのは初めてでしたが、不安はありませんでした。

神戸どうぶつ王国はカラフルな鳥や狼などがいました。バクもいましたが、怖かったので近づきませんでした。

お昼ご飯は大好きな中華料理で、シュウマイがとくに美味しかったです。同じテーブルにグループホームの友達もいて安心しました。

ボランティアのSさんには初めて会いましたが、一緒にいて過ごしやすいかったです。

また行事があれば参加したいです。 谷 紗英子

第56回近畿肢体不自由児者福祉大会
滋賀大会開催のご案内

3年ぶりに近畿福祉大会が開催されます。時間を短縮して行ないますが、①重度障害者のグループホームを立ち上げるには、②医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律、③重層的支援体制整備事業が果たす共生社会とは、の3つの課題についての講演があり中身の濃い大会になると考えられます。

テーマ 「重層的支援体制とは何か ― 住み慣れた地域で共生社会の実現に向けて―」

開催日 11月6日(日) 13時～16時

会場 滋賀県守山市生涯学習会館(エルセンター)

第19回共に生きる障がい者展『ともいき』

開催日 11月19日(土)・20日(日) 10時～16時

会場 国際障害者交流センター ビッグ・アイ ※入場無料

障害のある人もない人も共に楽しめるイベントが盛りだくさん!

主な行事(10月～12月)

- ★近畿ブロック地域指導者育成セミナー(近肢連)
10月15日(土) 奈良県文化会館
- ★日帰りレクリエーション(大阪府受託事業)
10月22日(土) 神戸アトア水族館
- ★第56回近畿福祉大会滋賀大会(近肢連) ※上記参照
11月6日(日) 滋賀県守山市生涯学習会館
- ★理事会(大肢協)
11月18日(金) 14時～ アネックスパル法円坂
- ★第56回チャリティバザー(大肢連)
11月19日(土) 八尾市山城町1丁目第1公園
- ★評議員会(大肢協)
11月25日(金) 14時～ アネックスパル法円坂
- ★障害者週間 啓発活動(大肢連)
12月3日(土)～9日(金)のうち1日 京橋駅前
- ★日産労連 クリスマスチャリティー公演(大肢協)
12月12日(月) 午後予定 国際障害者交流センター ビッグ・アイ
- ★友の会 クリスマス会(大肢協)
12月17日(土) 午後予定 アネックスパル法円坂
※行事は変更になることもありますのでご了承ください。

父母の会だより
能勢町身体障がい児者父母の会

会長 森内 由美子

北摂の肢体不自由児者父母の会が構成団体となり、療護施設を作るための運動が行われていた最中の1997年2月に、能勢町身体障がい(者)父母の会を発会。その運動に加わり、2002年4月能勢町内に「身体障害者療護施設ともがき」が開設されました。

北摂地域の方々の方々の生活の場となり、現在ではグループホームや児童デイ、訪問介護などの事業を展開しています。地域で生活している障害を持った方や家族の支えとなり、入所後も町内の小規模多機能型施設に通所もできています。施設開所後は支援団体に加わり、各市父母の会と協力して活動を継続しています。

能勢町父母の会は現在5名(準会員含む)です。コロナ禍で思うように活動を行なえませんが定期総会、町のイベント、行政への協力、大肢連や関係団体とも連携して活動に取り組んで参りたいと思います。

令和四年七月一日
九月三十日 現在

寄付金 一、三二一、五二円

木下 道子
ホテルグランヴィア大阪
一階ティールラウンジ
円心青年会
エスポワール

【大肢協ご協力深謝】
(順不同、敬称略)